



# 津田小だより

松江市立津田小学校  
令和7年12月19日  
校長 小林敏朗

「残暑」というよりは「猛暑」「酷暑」という言葉が当てはまりそうなほど暑さの中で始まった2学期が残り数日になりました。12月になり、特に朝夕は随分と寒くなってきました。そして、島根県内、松江市内の学校からインフルエンザによる学級閉鎖の知らせも届くようになりました。本校でも、今週に入りインフルエンザ罹患者や発熱等の理由による欠席者の数が急激に増え、複数の学級で学級閉鎖の措置をとりました。これから2月下旬(?) 3月上旬(?)あたりまで、当分の間は寒い日々が続くことと思います。子どもたちには寒さに負けずに、冬休みも3学期も含め日々の学習や生活に取り組んでほしいと思います。

## 第2回学校運営協議会から…

11月25日(火)に今年度第2回学校運営協議会を行いました。この学校運営協議会は「学校・家庭・地域の『連携』から、さらに充実・発展させてともに『協働』していくことで、その地域の子どもたちの健全育成をめざしていく」取り組みです。当日は4名の委員の方にお出かけいただきました。前半は子どもたちの授業や活動、校舎の様子などを見ていただき、後半は会議室で意見交換を行いました。前半の校舎内の見学では、子どもたちが落ち着いて学習や課題に取り組んでいること、11月から使用している新しいタブレットPCのことなどが話題となりました。後半の意見交換では、まずは学校評価の内容についてご了解をいただき、その後次のような話題が出されました。



- 今後も学校は、継続して児童一人一人の自己肯定感を育む取り組みをほしい。
- 学級担任や先生方に大きな負担がかかっていないか。適切な人員配置とサポート体制の構築をお願いしたい。
- 学校は様々なことがあるだろうが、学校と家庭が共にやっていく必要がある。
- 当たり前に行われていることやルールの意味など、子どもたちが主体的に考えていくことが必要だと思う。
- 子どもの思いを聴くことを大切にしてほしい。
- 読み聞かせや学習などのボランティア活動について、地域でできることは協力していきたい。
- 子どもたちは忙しくて大変。学校が唯一友達と関わる場になっている。「津田っ子グローリングタイム」が子どもたちの関係をつくり、深めるいい時間になると思う。
- 「津田っ子グローリングタイム」実施の中で、「週1回5時間授業にしたから」といって学力低下を心配するものではない。
- 「津田っ子グローリングタイム」の成果については、今後も検証を続けてほしい。

このような貴重なご意見をいただきました。今回の学校運営協議会でいただきましたご意見や今月実施しています学校評価アンケート(保護者・児童・教職員)のご回答などを参考にしながら、今後の教育活動の在り方を考えたり、来年度に向けての準備に取り組んだりしたいと考えています。

## 校内研修 島根教育大学の久我先生のお話から…

11月27日（木）の午後、本校に島根教育大学教授の久我直人先生をお迎えして校内研修を行いました。当日は児童の下校時刻を通常より早めたことに、ご対応いただきました保護者の皆様ありがとうございました。

この校内研修は「子どもの幸せを生み出す信頼ベースの学級・学校づくりの理論と実践」というテーマで、主に子ども理解や学級集団づくり、勇気づけ教育などに関わるお話をしました。その中で我々教職員が子どもたちに接するときに大切にしたいこと、子どもたち一人一人のがんばりや優しさなどポジティブなところに目を向けることなど、今後の学級・学校経営に大きな示唆をいただきました。またお話の中で、子育てに関わって保護者の皆様とは是非共有したいな、これから少しずつでもやっていただくといいなと思うお話がありましたので紹介します。簡単にまとめると次のようなお話を。



- 保護者も学校も子どもたち一人一人に学力や社会性を身につけてほしいと願っている。  
\* 社会性=個人が集団の中で他者と良好な関係を築き、社会生活を円滑に営むための能力や特性。コミュニケーション能力、協調性、共感性、ルールやマナーの遵守などを含む。
- その学力向上や社会性の醸成の基盤になるのは「自分に対する信頼」である。
- 「自分に対する信頼」とは「自分にはよいところがある」「私は一人の大切な人間である」「周りの人から認められている」ということ。
- そして「自分に対する信頼」を支えているのは「親への信頼」である。
- 「親への信頼」は「親からの愛情」がベースになっている。
- つまり「愛されている」という確信が、その子の社会性を決める。
- そのために「子どもとのスキンシップ（頭をなでる・肩に手を添えるなど）」「しっかりと顔を合わせてコミュニケーション（笑顔でうなずく・目を合わせる）」「子どもの声かけを増やす（「おはよう」「おかえり」「学校、楽しかった？」など）」「仕事（お手伝い）を頼んで『ありがとうね』（新聞・食器の片付けなど）」などをする。
- 共有体験・共感の言葉かけをする。（言葉を重ねる。感覚を言葉にする。）  
例：子「おいしいね～。」親「おいしいね～。」 子「きれいだね～。」親「きれいだね～。」
- 子どもの行動にポジティブな言葉を添える。  
例：「がんばったね～。」（学びでの努力を認め励ます）  
「優しいね～。」「ありがとう。」（優しさを価値づける）
- 一緒に遊び、笑う。…人の気持ちに共感する喜びを味わわせる。

「こういうことは、普段からやっているよ。」というご家庭もあると思います。来週から冬休みになります。普段お忙しいことと思いますが、冬休み、年末年始はいつもよりは多めにお子さんと一緒に過ごす時間もあることだと思います。そういう時に少しでも子どもたちとこのような関わり方をしていただくと喜びます。よろしくお願ひします。

## 2学期をふりかえって

8月29日（金）の始業式では、私から「『自分を見つめる力』『自分をふりかえる力』を伸ばしてほしい。自分のいいところをたくさん見つける2学期にしてほしい。」という話をしました。子どもた

ち一人一人が、自分のいいところをたくさん見つけた2学期になったでしょうか？そして、自分を見つめる力、ふりかえる力が伸びたでしょうか？またいい機会に、保護者の皆さんもお子さんの成長について、お子さんと一緒にふりかえっていただくと喜びます。（通信票「のびよ津田っ子」を見ながら。冬休みにゆっくりと。学期末懇談で担任がお伝えしたことを思い出しながらなど。）

さて、私が2学期をふりかえって子どもたちの成長を感じられたなと思っていることを3つほどお伝えします。

一つ目は「ふりかえり」の成長です。この学校だよりも、学習や活動のふりかえり、うたごえ広場や連合音楽会など行事のふりかえりを紹介しました。その紹介する際には、学級担任からふりかえりのコピーを受け取り、読んでいます。どのふりかえりも、自分ができるようになったこと、わかつたこと、自分の身についた力、そして反省や今後に生かそうとすることなど、自分をよく見つめているものがたくさんありました。すべてを学校だよりに紹介することは不可能ですが、読む中で子ども一人一人の成長を感じることができました。また、成長を感じることと併せて、成長の仕方は人それぞれ違うということを改めて感じたところです。このふりかえりについては3学期以降も大切にしたい取り組みですし、ふりかえりを通して「自分を見つめる力」や「自分をふりかえる力」を更に養っていくたいと考えています。

二つ目は「あいさつ」です。これは肌感覚です。毎朝、子どもたちが登校してきたときにあいさつをして出迎えるようにしています。最近（特に2学期の後半）、あいさつをきちんと返してくれる子や自分から先に「おはようございます。」とあいさつをする子（先取りあいさつをする子）、町中に響きそうな大きな声であいさつをする子などが増えてきました。昨年度までの様子はわかりませんが、少なくとも1学期よりあいさつをしっかりする子が増えてきたなと感じています。先日ある学校の先生が来校された際に「津田小の子はよくあいさつしますね～。」とおっしゃっていました。私自身もうれしく思いました。しかしながら一方で、なかなかあいさつができない子、目は合っているけど「おはようございます。」が返せない子、自分にあいさつされていることは（たぶん）わかっているだろうけど返せない子どもたちがいることも事実です。今後はこういう子も含めて、少しずつでもあいさつの輪が広がるように取り組んでいきたいと思います。

三つ目は「協働すること」です。現在の学習指導要領でも「協働的な学び」が求められています。これは、多様な意見や価値観に触れたり、多面的・多角的に考えたりすることが目的です。つまり、自分とは違ういろいろな考え方をもつ他者と協働して一緒に考えたり、最適解を創ったりしていく学びのことです。私はほぼ毎日、授業の様子を見て歩いています。その授業中の様子で、ペアや3～4人グループなど、友達と一緒に話し合う活動が活発になってきた印象をもっています。子どもたちの話し合いを近くまで行って聞いてみると、めあてや課題、課題の解決方法について真剣に話し合っていることがあります。

「話し合っている」と書きましたが、高学年では「語り合っている」という表現が近いなと感じることも多くあります。また、子どもたちが話し合いを通して、授業の「問い合わせ」や「課題」をつくる姿も見られるようになってきました。以前は、課題は授



業者から子どもたちに与えられるものでしたが、子どもたちが問い合わせや課題をつくり、何を学習するのか、自分たちから学びを求める姿が見られています。このような学習を今後も継続して取り組んでいきたいですし、協働する前にはしっかりと自分の考え方や意見をもつことを大切にしたいと思います。

子どもたちの成長が感じられたことを3つ紹介しました。私が気づいていないところでも、子どもたちの成長や伸びは多くあると思います。3学期に向けて、さらに子どもたちを真ん中において学校経営を考えていきたいと思います。

## 冬休みが始まります！

来週の木曜日から、子どもたちが楽しみにしている冬休みが始まります。今年度の冬休みは14日間あります。この期間、まずは安全に健康に過ごしてほしいと思います。交通事故に遭わないよう交通ルールを守ったり、自転車の乗り方に気をつけたり、また健康面では規則正しい生活を心がけてほしいと思います。また冬休みは、先程の校内研修の内容にもありました仕事（お手伝い）に取り組む絶好の機会だと思います。ご家庭でお子さんと相談の上、是非お手伝いに取り組んでほしいと思います。お手伝いは家族の一員である自覚を育てるのにとても有効です。そして、お手伝いができたら「ありがとうございました。」「助かったよ。」の一言をお子さんに伝えていただくと喜びます。

そして、最後にもう一つ。もうご存じのことですが、2学期から「津田っ子グローイングタイム」に取り組んでいます。この「津田っ子グローイングタイム」の目的の一つに「子どもたち一人一人に、主体的に学習や生活を創造する力を養う」ことを掲げています。つまり、与えられたことを単にこなすのではなく、さらに一段高い「自分から創り出す」ことをねらっている取り組みです。この冬休みについても、自分で考え工夫した学習や生活、取り組みをする時間にしてほしい、何となく過ごすのではなく自分で生活を創っていくことを意識してほしいと思っています。

それでは、令和8年1月8日（木）の3学期始業式の日に、子どもたちの元気な顔に出会えることを楽しみにしています。

最後になりましたが、この1年も本校の教育活動にご理解・ご協力・ご支援をいただき、ありがとうございました。来年も変わりませず、よろしくお願いします。みなさま、よいお年をお迎えください。